

自民県連

# 鈴木氏が会長就任

## 遠藤氏は最高顧問に

自民党県連大会が14日、山形市のパレスグランデールで開かれ、任期満了に伴う役員改選で、会長には遠藤利明衆院議員(67)＝県1区Ⅱに代わり、鈴木憲和衆院議員(35)＝県2区Ⅱを選出した。鈴木氏は当選2回目、30代という異例の若さ

で大所帯のかじ取りを担う。遠藤氏を最高顧問に、幹事長には坂本貴美雄県議(69)＝新庄市区Ⅱを登用するなど、執行部は経験豊富な陣容で固め、組織の再生に向けてスタートを切った。Ⅱ2面に関連記事

を新たに選び、女性局長も兼務する。政調会長は森谷仙一郎県議(58)＝天童市区Ⅱを新任。幹事長代理の島津良平県議(60)＝東置郡区、青年局長の佐藤聡県議(48)＝鶴岡市区Ⅱはそれぞれ再任した。新体制はこの5人の役員を中心に運営される。加藤鮎子衆院議員(38)＝県3区と、大沼瑞穂

参院議員(38)はいずれも会長代理に就いた。鈴木会長は「県連が再生できるかが問われており、一丸となって同じ方向に進むことが不可欠。政権与党としての結果を出さなければ再生はなく、自民党に託してみようと思っただけでいい」と決意を述べた。

大会では来賓の竹下亘自民党国対委員長が講演した。遠藤、加藤両衆院議員、大沼参院議員、県議、各支部代表者、吉村美栄子知事をはじめ、佐藤孝弘山形市長ら県内各市町村の首長、公明党県本部の菊池文昭代表ら約600人(県連発表)が出席した。